



青年会議所とは?

青年会議所は「明るい豊かな社会の実現」を目指して活動する団体です。

メンバーは皆、自分達の住む地域の為に出来ることをしたい、地域に住む子ども達の将来の為に出来ることをしたいと考えています。また、青年会議所はメンバー自身の成長の場でもあります。

地域の為に出来る何かをするにはメンバーひとりひとりが様々な経験を積んで成長していかなければなりません。

現在、見附青年会議所では15名のメンバーが、地域の為、子ども達の将来の為に想い日々活動をしています。

2022年度理事長挨拶



第53代理事長
小田野 寛栄

見附青年会議所広報紙をご覧の皆様、日頃より私たちの活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

2022年度理事長の職をお預かりさせて頂いております、小田野寛栄と申します。

変化する社会情勢、未だ終息の見えない新型コロナウイルスの影響によりこれまでの常識が大きく変化しました。そんな中、私は今年度『調和』～力を合わせて広がる可能性～をスローガンに掲げ、見附市の街の発展、ひいては私たち個人の成長を目的に1年間、青年会議所運動を展開してまいりました。当初、予定・計画していた活動も延期や中止を余儀なくされることもありましたが、その中でもメンバー一人ひとりが力を合わせ協力し合い、やり方を模索、工夫しながらその時代に合った方法で青年会議所らしい活動を行えたと思っております。2023年度も見附青年会議所を宜しくお願い致します。

2023年度理事長予定者



第54代理事長
大湊 和之

2023年度見附青年会議所理事長予定者の大湊和之と申します。

2019年に発生した新型コロナウイルス感染症により、この3年間で生活スタイル、価値観などの様々な事が大きく変化をしたと感じております。その事を見附青年会議所にも大きな影響を与え続けております。

2023年度のスローガンは「^{しゆほり}守破離～未来の見附のために～」と掲げさせていただきました。「守破離」という言葉は聞きなじみのない方が多いのではないかなと思っております。「守破離」とは成長していく為の過程を表した言葉です。大きく変化をしていく世の中ではありますが、青年会議所メンバーがそれぞれ成長をし、見附という地域の未来を想いながら活動をしていくという思いです。

2023年度は14名と過去最少人数でのスタートとなりますが、それでも見附青年会議所会議所は「明るい豊かな社会の実現」に向けて邁進してまいりますので、2023年度も見附青年会議所を宜しくお願い致します。



文化伝承委員会 委員長
窪 明博

当委員会は、青少年育成事業ならびに見附まつり樽はやし事業といった、見附青年会議所の伝統を受け継ぐ事業を担当しました。伝統といっても、ただ同じことをそのまま繰り返すという訳ではありません。本来持つ事業特有の個性を守りつつ、今の時代に合わせて、さらに良いものとして再構築して、事業を展開していくことを意識して活動しました。これからも見附の地を盛り上げていけるよう邁進していければと思います。



地域開発委員会 委員長
浅野 千紘

見附青年会議所はコロナ禍においても感染予防をしながら活動を継続して参りました。しかし2022年も新年会等が中止され、全てが例年通りとはなりません。今後もコロナ前はできたこと、withコロナで世の中に定着したことを織り交ぜながら新たな企画をしたり、多様な人々を仲間にして地域貢献や活性化を行います。委員長としては失敗もあり、ご迷惑もおかけしました。失敗も次に生かすことができるのが青年会議所の長所の一つです。

今年度の主な事業

7月



樽はやし大会

今年は「繋～次世代に伝える見附の活気と伝統～」をテーマに、樽はやし大会と仮装大会を同時開催。仮装して参加される方々が樽はやし大会に華を添え、盛り上がりました。

10月



バスケットボール教室

元アルビレックスBBの佐藤公威さんにお越しいただき、青少年育成の一環として、市内ミニバスチームを対象にバスケットボール教室を開催。約3時間の熱い指導をしていただきました。

11月



意見交換会

地域の20代・30代の方々をお招きし、見附青年会議所の現役メンバーと「見附・中之島で取り組んでみたいこと」についてワークショップを行いました。